

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月7日

上場会社名 **santec株式会社** 上場取引所 **東**
 コード番号 **6777** URL **http://www.santec.com/jp**
 代表者 (役職名) **代表取締役社長** (氏名) **鄭 台鎬**
 問合せ先責任者 (役職名) **業務部管理グループ長** (氏名) **水島 大介** TEL **0568-79-3535**
 四半期報告書提出予定日 **平成26年2月13日** 配当支払開始予定日 **—**
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : **無**
 四半期決算説明会開催の有無 : **無**

(百万円未満切捨)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,188	60.3	131	—	268	—	263	—
25年3月期第3四半期	1,365	△17.4	△295	—	△215	—	△202	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 529百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △169百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	22.03	—
25年3月期第3四半期	△16.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	8,644	7,619	88.1	637.00
25年3月期	8,054	7,125	88.5	595.76

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,619百万円 25年3月期 7,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,031	25.8	200	635.5	224	13.5	190	69.5	15.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	11,961,100株	25年3月期	11,961,100株
26年3月期3Q	314株	25年3月期	226株
26年3月期3Q	11,960,840株	25年3月期3Q	11,960,874株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで。以下、「当第3四半期」。）における世界経済は、米国景気の回復が報じられるなど前向きな話題がある一方で、米国の財政協議が難航するなど不安要素が残ったほか、欧州も債務危機を脱しておらず、新興国経済の減速があるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

このような中、当社グループは、平成26年3月期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の基本方針として、「高付加価値製品の創出と全社員の成長」を掲げ、高付加価値製品による売上の増強を図りつつ、今後の厳しい市場環境を勝ち抜く実力を全社員が身につけることを目指し、活動を展開しております。

前述のような市場環境を背景に、当第3四半期の連結売上高は2,188百万円と、前第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで。以下、「前第3四半期」。）と比較して60.3%の増加となりました。前連結会計年度において受注した、医療機器用OCT（= Optical Coherence Tomography。光の性質を利用して、非破壊断層画像を取得する技術。）製品の納品によるものに加え、光通信市場において、急速なネットワークトラフィック増加を支えるため、新興国向けの設備投資が増加していることを背景として、中国における光部品生産工程向け光測定器製品の売上が伸びたことが主な要因です。

売上増加に加え、利益率の高い光測定器関連事業製品の割合が高まったことにより、当第3四半期の営業利益は131百万円と前第3四半期の営業損失295百万円に比して改善いたしました。為替差益の発生などにより、経常利益は268百万円（前第3四半期は経常損失215百万円）、当第3四半期の四半期純利益についても263百万円（前第3四半期は202百万円の純損失）と、黒字に転換しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 光部品関連事業

当第3四半期の売上高は786百万円と、前第3四半期（589百万円）に比して、33.4%の増加となりました。中長距離向け光部品製品の新技术への端境期入りによる投資抑制ムードや、無線設備への投資偏重傾向は依然として継続しているものの、過度の抑制は緩んだものと観測しております。セグメント損失は130百万円と、前第3四半期のセグメント損失121百万円に比して拡大いたしました。これは、研究開発と製品戦略の融和性を高めるために研究開発部門を事業内に取り込んだことで、セグメントの経費負担が増加したことによるものです。

② 光測定器関連事業

当第3四半期における同事業の売上高は、1,128百万円と、前第3四半期に比してほぼ倍増する結果となりました。主として、前年度に受注したOCT製品の納品によるものです。光測定器製品につきましては、米国及び新興国での引合いが強かった反面、欧州市場の回復が遅く、日本においては需要一巡による減速があり、前第3四半期に比して微増するにとどまりました。

③ システム・ソリューション事業

ソフトウェア販売については、オフィスのPCを社外からシームレスに遠隔操作することで業務効率化を提案する、PC遠隔操作ソリューションの売上が好調となり、当第3四半期の売上高は272百万円と、前第3四半期の218百万円に比して24.9%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末（8,054百万円）に比べて589百万円増加し、8,644百万円となりました。これは、投資有価証券の増加などがあったことによるものです。

② 負債

当第3四半期末の負債は、前連結会計年度末（929百万円）に比べて96百万円増加し、1,025百万円となりました。これは、前受金などのその他流動負債が減少した一方で、支払手形及び買掛金、繰延税金負債などのその他固定負債が増加したことによるものです。

③ 純資産

当第3四半期末の純資産は、前連結会計年度末（7,125百万円）に比べて493百万円増加し、7,619百万円となりました。これは、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通信設備投資の必要性は高まっているものの、主力の中長距離向け光部品製品に関連して、投資抑制の動きがあることから、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況が続くと考えております。

当社グループは、このような環境のもと、少しでも早く市場の求める新製品を開発し、市場に提供することを目指すと共に、市場の動向を正確に見極め、変化に対して的確な対応を可能とする組織作りを行い、光技術の可能性を更に高め、将来の成長に向けて全力を尽くしてまいります。

通期業績予想に関しまして、当第3四半期の四半期純利益は、既に通期業績予想数値を大幅に上回っておりますが、本日付で発表いたしました「OCT光源装置供給契約に関する状況変化について」でお知らせした通り、OCT製品の売上について不透明な要素を抱えており、影響について慎重に分析を行っているところです。業績に対する影響が明らかとなり次第、お知らせいたします。

期末配当予想につきましては、平成25年5月10日発表のものから修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,722,663	1,806,017
受取手形及び売掛金	933,429	786,200
電子記録債権	—	18,900
有価証券	5,073	125,624
商品及び製品	164,830	293,102
仕掛品	45,919	62,544
原材料	162,978	209,800
その他	99,318	58,298
貸倒引当金	—	△674
流動資産合計	3,134,213	3,359,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,796,416	1,736,699
機械装置及び運搬具（純額）	650	1,891
土地	1,621,858	1,621,858
リース資産（純額）	—	2,713
建設仮勘定	—	1,159
その他（純額）	44,760	47,579
有形固定資産合計	3,463,685	3,411,901
無形固定資産	86,727	81,346
投資その他の資産		
投資有価証券	1,342,779	1,759,891
その他	27,448	31,398
投資その他の資産合計	1,370,228	1,791,290
固定資産合計	4,920,641	5,284,538
資産合計	8,054,855	8,644,351

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	240,909	304,680
未払法人税等	24,797	16,611
賞与引当金	15,803	67,213
その他	225,099	102,979
流動負債合計	506,610	491,485
固定負債		
退職給付引当金	310,741	325,926
資産除去債務	11,106	11,298
その他	100,604	196,614
固定負債合計	422,452	533,839
負債合計	929,062	1,025,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	742,720	970,303
自己株式	△80	△119
株主資本合計	6,930,671	7,158,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	274,626	498,248
為替換算調整勘定	△79,505	△37,436
その他の包括利益累計額合計	195,120	460,811
純資産合計	7,125,792	7,619,027
負債純資産合計	8,054,855	8,644,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,365,060	2,188,313
売上原価	826,069	1,178,428
売上総利益	538,990	1,009,885
販売費及び一般管理費	834,960	878,813
営業利益又は営業損失(△)	△295,970	131,071
営業外収益		
受取利息	19,184	39,099
受取配当金	6,253	8,802
為替差益	41,744	105,401
助成金収入	22,730	—
その他	20,150	21,060
営業外収益合計	110,064	174,364
営業外費用		
支払利息	32	20
休止固定資産関係費用	18,382	18,458
不動産賃貸費用	11,458	12,619
その他	16	5,723
営業外費用合計	29,889	36,822
経常利益又は経常損失(△)	△215,795	268,613
特別利益		
固定資産売却益	78	—
投資有価証券売却益	18,073	9,162
その他	51	1,527
特別利益合計	18,203	10,689
特別損失		
固定資産除却損	34	30
特別損失合計	34	30
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△197,626	279,273
法人税等	4,882	15,807
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△202,509	263,465
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△202,509	263,465

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△202,509	263,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,687	223,621
為替換算調整勘定	12,867	42,068
その他の包括利益合計	32,555	265,690
四半期包括利益	△169,953	529,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△169,953	529,156
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	589,737	556,721	218,600	1,365,060
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	589,737	556,721	218,600	1,365,060
セグメント利益又は損失(△)	△121,379	△175,891	1,301	△295,970

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	786,891	1,128,490	272,931	2,188,313
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	786,891	1,128,490	272,931	2,188,313
セグメント利益又は損失(△)	△130,597	219,906	41,763	131,071

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。